

地域活動支援・連携促進事業

「せんだい夏の節電促進プロジェクト2013」

活動報告書

平成26年3月

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
(ストップ温暖化センターみやぎ)

【目次】

1.事業の実施目的と概要	2
(1)目的.....	2
(2)概要.....	2
(3)事業全体のイメージ	3
2.事業の組織化.....	4
(1)コンソーシアム構築に至るまでの経緯.....	4
(2)組織図	4
3.会議の開催と議事内容	5
(1)第1回コンソーシアム会議	5
(2)第2回コンソーシアム会議	6
(3)第3回コンソーシアム会議.....	6
4.事業実施スケジュール	7
5.事業実施内容	8
(1)節電セミナーの開催	8
(2)節電ガイドブック	13
(3)節電モニター	13
(4)広報.....	14
6.本事業実施による CO ₂ 排出削減効果	19
(1) 「105万人の伊達な節電所キャンペーン」 応募結果による CO ₂ 排出削減量.....	19
(2) 行動変容アンケート結果	20
7.コンソーシアム事業の総括と評価	21

1.事業の実施目的と概要

(1)目的

本事業は、宮城県内で活動する地域の主体等が参画し、仙台市内(通勤・通学含む)の一般家庭に対し、各媒体(ウェブサイト、チラシ、市政だよりなど)を用いた広報や節電セミナー等の開催により夏場の節電を促し、二酸化炭素の排出抑制及び地域の活性化を図ることを目的に実施した。

(2)概要

エアコン等の冷房にかかる電力消費が増える6月から9月にかけて、市民に対し夏場の家庭部門からの電力消費削減のための節電対策のコツ伝授を行った。具体的には、せんだい E-Action2013 実行委員会・シンプル&スローライフの会・仙台生ごみリサイクルネットワーク・みやぎ生協が開催・講師となり、一般市民を対象に、夏場の節電に関するコツを伝授する「節電セミナー」(※1)を開催した。また、夏場の節電対策や宮城県のエネルギー消費の現状についてまとめた節電ガイドブックを作成し、セミナー参加者に配布したほか、各種イベント等で配布することによりセミナーに参加できない市民に対しても、家庭における節電効果の向上に寄与した。

また、6月から10月にかけて、せんだい E-Action2013 実行委員会による夏場の節電を促す「105万人の伊達な節電所キャンペーン」(※2)が行われた。事業効果を高めるため、せんだい E-Action2013 実行委員会以外の構成員も協力し、各団体会員・組合員・地域住民・市民センター・小学校等へのキャンペーン応募の呼びかけを行った。さらに、「105万人の伊達な節電所キャンペーン」の一環で、個別の節電アドバイスや節電の取り組み取材を受ける「節電モニター」(※3)が任命され、本プロジェクトでは、モニターに対しうちエコ診断員等と協力し、直接的なコツ伝授等を行った。

「105万人の伊達な節電所キャンペーン」終了後、応募者から提出された電気使用量の検針票を元に、昨年度と今年度の電気使用量の差を集計し、本事業によるCO₂排出削減量を算出した。

(※1)節電セミナーについて (各コンソーシアム構成員が実施主体)

■開催時期：6月1回、7月2回、8月1回、9月2回の計6回実施した。

■主なテーマ：「節電」「照明」「グリーンカーテン」

節電について…みやぎ生活協同組合の組合員を対象とした夏の節電をテーマとした学習会を開催する。
照明について…せんだい E-Action2013 実行委員会メンバーであるアイリスオーヤマ株式会社の社屋を活用し、LEDの紹介や照明に関する節電対策の紹介を行う。

グリーンカーテンについて…せんだい生ごみリサイクルネットワークによる市民を対象にしたグリーンカーテンの育て方講座やシンプル&スローライフの会による小学校でのグリーンカーテンの効果(サーモカメラを使用した体感温度の違い体験等)の授業を行う。

■講師：シンプル&スローライフの会、せんだい生ごみリサイクルネットワーク、東北大学中田俊彦氏等

(※2)「105万人の伊達な節電所キャンペーン」について (せんだい E-Action2013 実行委員会の事業)

■期間：7月1日(月)～10月11日(金)

■応募資格：仙台市に在住もしくは在学在勤で、東北電力管内のかたであればどなたでも応募可能。

■応募方法：東北電力から配付される「電気ご使用量のお知らせ」のうち、7・8・9月分を、デジカメ・ケータイ・スマートフォンで撮影し、キャンペーンメールアドレスへ写真を投稿する。

または、「電気ご使用量のお知らせ」をコピーし、郵送または仙台市環境局に持参する。

■応募締切：8月10日(7月分の検針表)、9月10日(8月分の検針票)、10月11日(9月分の検針票)

※10月11日の締切時に、3ヵ月分まとめての応募も可。その場合は、月間賞の対象にはならない。

■抽選について：月間賞…各月ごとに抽選を行う。(20名×3回)景品：保温タンブラー

キャンペーン賞…3ヵ月分全て応募した方の中から抽選を行う。(10名×1回)景品：
LED ランタン

※応募者が提出した電気使用量の削減量(総量)は、「たまきさん」のウェブサイトで公開し、随時加算されていく。

(※3)節電モニターについて (せんだい E-Action2013 実行委員会の事業)

キャンペーン期間中、うちエコ診断の受診や宮城県地球温暖化防止活動推進員等からの個別の節電アドバイスを受ける節電モニターが5名任命された。本事業では、節電モニターの自宅等にうちエコ診断員等を派遣し、節電の取り組みの取材や個別の節電対策のアドバイスをを行った。取材内容は、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん」のブログでも紹介された。

(3)事業全体のイメージ

本事業全体のイメージ図を以下に示す。

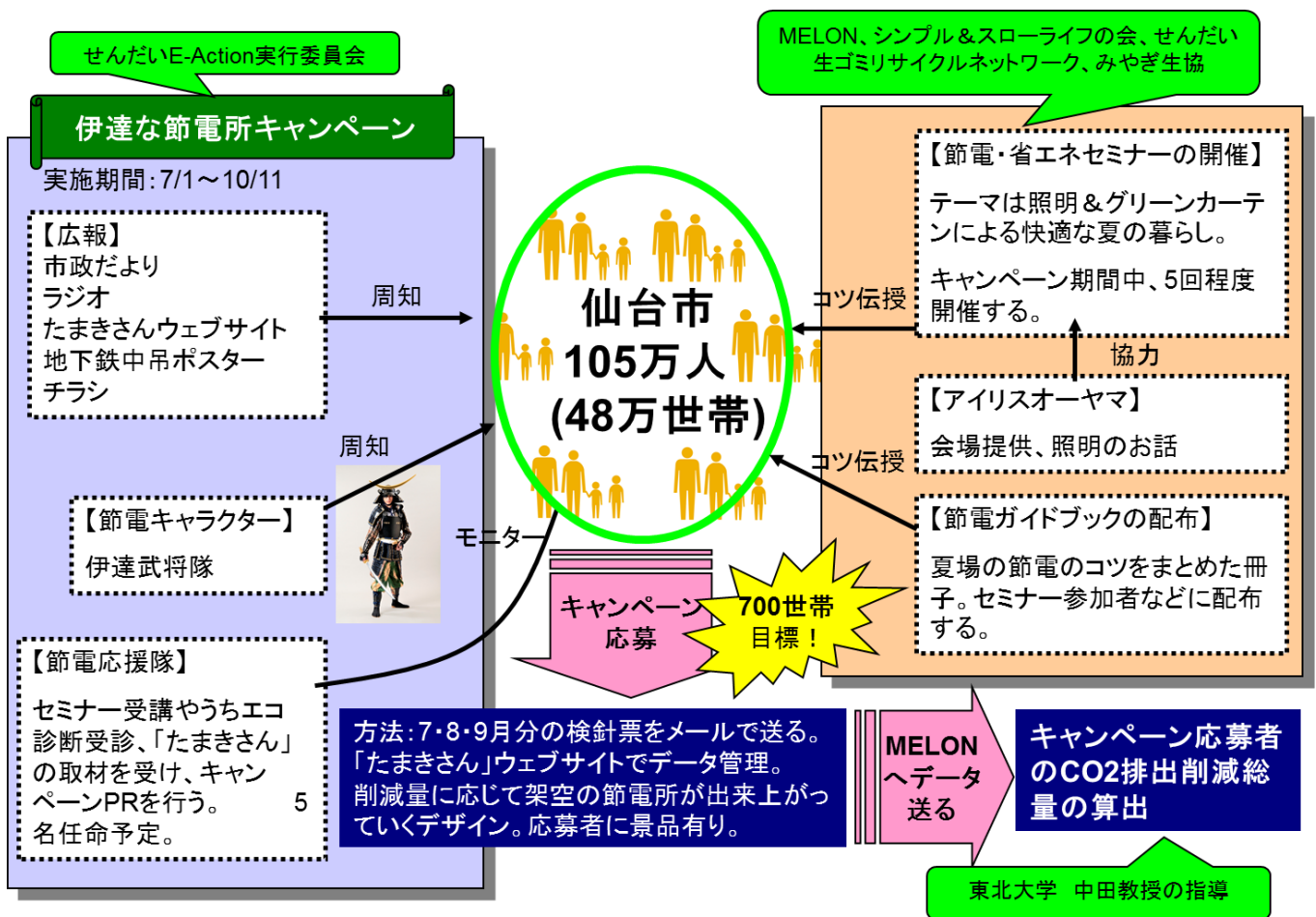


図 1-1 事業全体イメージ図

2.事業の組織化

(1)コンソーシアム構築に至るまでの経緯

まず、昨年度のコンソーシアムメンバーと協議を重ねた結果、夏場の節電をより効果的なものにするためには、グリーンカーテンによる空調機器の節電のみならず、家庭生活全般の節電を促すことが重要であると話し合われた。また、事業期間中に定期的な節電方法を伝えるセミナーを開催することや、宮城県の特徴をまとめた地域性のある節電方法をまとめたガイドブックを作成し、セミナー参加者や、セミナーに参加できない多くの方等にも配布することで、よりきめ細やかな節電のフォローが出来るのではないかということになった。

また、宮城県地球温暖化防止活動推進センターの運営委員としても入っている仙台市環境局が、昨年度「みやぎグリーンカーテンプロジェクト2012」と同様にグリーンカーテン促進のキャンペーンを行っていたことから、今年度も同様に夏季の節電キャンペーンを行うのであれば、協力して実施したほうが双方にとって事業効果が上がるのではないかと考え、共同実施提案を行った。仙台市環境局では、今夏も節電に関するキャンペーン（市民に7～9月の電気検針票を提出してもらい、抽選でエコグッズをプレゼントする）を実施予定となっているとのことであったが、主に広報中心の内容となっていたため、節電効果を高めるための具体的な方法伝授の部分が弱いとのことであった。このため、節電方法伝授の部分を強化するため、仙台市環境局からもぜひ共同実施したいとの申し出をいただいた。

昨年度のコンソーシアムメンバーと計画していた節電セミナーやガイドブックの配布による節電方法の伝授と、仙台市環境局が進めるキャンペーンによる市民からの検針票の提出を合わせることで、仙台市民が取り組む節電による夏場のCO₂削減効果の測定を行うプロジェクトおよびコンソーシアムの構築に至った。

※仙台市環境局の実施する節電に関するキャンペーンは実行委員会を組織して運営されるため、コンソーシアムにはその組織体「せんだい E-Aciton2013 実行委員会」として参加する。

(2)組織図

4つの共同事業者および外部有識者1名とともに「せんだい夏の節電促進コンソーシアム」を構築した。以下表に構成員の役割分担および、構成図を記す。

	団体名	役割
幹事団体	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)	進行管理、会計責任、コンソーシアム会議開催、事業広報、効果測定
共同事業者:構成員	シンプル&スローライフの会	節電セミナーの開催、講師、キャンペーン周知
	せんだい E-Action2013 実行委員会	節電セミナーの開催、電気使用量検針票の回収
	仙台生ごみリサイクルネットワーク	節電セミナーの開催、講師、キャンペーン周知
	みやぎ生活協同組合	節電セミナーの開催、キャンペーン周知
外部有識者	中田俊彦氏(東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻教授)	効果測定方法およびデータ解析の指導、コンソーシアム会議議長

表 2-1 「せんだい夏の節電促進コンソーシアム」構成員の役割分担

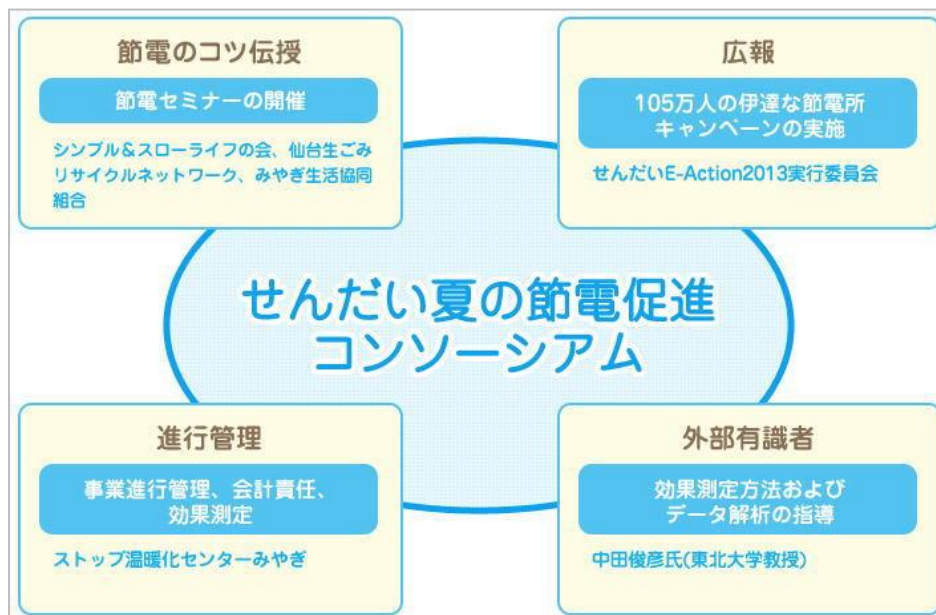


図 2-1 「せんだい夏の節電促進コンソーシアム」構成図

3.会議の開催と議事内容

事業を円滑に進行するために、プロジェクト進捗や課題などを共有するコンソーシアム会議を3回開催した。

回	時期	会場	内容
第1回	6月20日(木)	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 事務所	構成員の顔合わせ、事業内容の共有
第2回	9月12日(木)	シンプル&スローライフの会 事務所	中間報告
第3回	1月20日(月)	東北大学 大学院工学研究科 中田研究室	最終報告

表 3-1 コンソーシアム会議開催日程と内容

(1)第1回コンソーシアム会議

日時：6月20日(木) 17:00～18:00

場所：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 事務所
(仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5階)

参加者：シンプル&スローライフの会 柳沼真理氏

せんだい E-Action2013 実行委員会 佐藤陽子氏

仙台生ごみリサイクルネットワーク 牧野勇氏

みやぎ生活協同組合 昆野加代子氏

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 小林幸司、岸恵理、周慶雲

進行役：東北大学 中田俊彦氏

内容：1. 「せんだい夏の節電促進プロジェクト 2013」の事業説明

2. 構成員からのあいさつ

3. その他

総括：今回はメンバーの顔合わせと事業全体の情報共有の会議を開催した。これまで個別の打合わせは重ねていたが、改めてメンバーが集まった中で説明を行うと、メンバーから様々な意見が出され、概要や進め方についての改善点が見つかった。特に、セミナーの実施地域を仙台市内に限定せず、県内全域に広げてはという意見については、事業の広がりにも繋がるためぜひ行っていきたい。

(2)第2回コンソーシアム会議

日時：9月12日(木) 14:00～15:30

場所：シンプル&スローライフの会 事務所(仙台市泉区実沢字桐ヶ崎屋敷1番地)

参加者：シンプル&スローライフの会 柳沼眞理氏、せんだい E-Action2013 実行委員会 佐藤陽子氏
仙台生ごみリサイクルネットワーク 牧野勇氏、みやぎ生活協同組合 昆野加代子氏
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 岸恵理

進行役：東北大学 中田俊彦氏

内容：1. ストップ温暖化センターみやぎからの中間報告
2. 各構成員からの報告
3. その他

総括：予定していた節電セミナーの開催や節電ガイドブックの配布がほぼ完了した。節電セミナーは後半から広報に注力したことにより、定員を上回る多くの参加者に来ていただくことができた。残り期間でキャンペーン参加者拡大の呼びかけを構成員と協力して行っていくよう打診し、せんだい E-Action2013 実行委員会は引き続きブログやイベントで周知するほか、シンプル&スローライフの会は小学校児童、仙台生ごみリサイクルネットワークは団体メンバー、みやぎ生協は職員や組合員へそれぞれ呼びかけを行っていくことになった。

(3)第3回コンソーシアム会議

日時：1月20日(月) 14:00～16:00

場所：東北大学大学院工学研究科 中田研究室(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11)

参加者：シンプル&スローライフの会 柳沼眞理氏
せんだい E-Action2013 実行委員会 佐藤陽子氏
仙台生ごみリサイクルネットワーク 牧野勇氏
みやぎ生活協同組合 昆野加代子氏
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 岸恵理

進行役：東北大学 中田俊彦氏

内容：1. ストップ温暖化センターみやぎからの事業のまとめ報告
2. 成果・課題についての意見交換
3. 中田氏からの話題提供

総括：今年度から、CO₂削減量が計画に達しなかった場合は理由書の提出が必要になるため、メンバーとは事業効果についての意見交換を重点的に行った。CO₂削減量が事業計画に達していない点について、メンバーから「各団体が今夏取り組んだ節電に関する活動も事業効果に含めてはどうか」「グリーンカーテンは子どもの教育面や地域への波及効果の面からも成果があった。数値では表せない副次的な効果として事業効果になるのではないか」などの意見が出された。各団体の取り組みについて個別に各団体に相談し、事業効果をまとめていきたい。



図 3-1 第 2 回会議の様子



図 3-2 第 3 回会議の様子

4. 事業実施スケジュール

本事業の実施スケジュールを以下表に示す。

平成 25 年 4 月	事業 検討	・コンソーシアムの組織化
5 月		・事業申請
6 月	開始 事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 交付決定、事業スタート(6 月 18 日) ● 第 1 回コンソーシアム会議の開催(6 月 20 日) ・節電セミナーの開催
7 月		105 万人の伊達な節電所キャンペーン」開始 ・節電セミナーの開催 ・節電ガイドブックの作成
8 月	夏場 の節電 対策の 伝授、 キャンペーン 広報	・節電ガイドブック完成、配布開始 ・節電セミナーの開催 ・節電モニター訪問 ・ウェブサイトの作成
9 月		<ul style="list-style-type: none"> ● 第 2 回コンソーシアム会議開催(9 月 12 日) ・節電セミナーの開催 ・ウェブサイトの完成、公開 ・節電モニター訪問
10 月		・「105 万人の伊達な節電所キャンペーン」終了
11 月	測定 事業 効果	・応募データの取りまとめ、CO ₂ 削減量の算出
12 月		
平成 26 年 1 月	報告 書作 成	● 第 3 回コンソーシアム会議開催(1 月 20 日)
2 月		・報告書の作成
3 月		● 事業終了(3 月 10 日)

表 4-1 本事業の実施スケジュール

5.事業実施内容

(1)節電セミナーの開催

①開催概要

節電セミナーを6回開催し、計375名が受講した。

日時	場所	主催	内容	講師	参加者
6月24日(月) 10:00~11:45	情報産業 プラザ	みやぎ生協	くらしの中のエネルギーを 考えてみよう	中田俊彦氏	75名
7月8日(月) 19:00~20:00	泉パークタ ウンタピオ	仙台生ごみリサイ クルネットワーク	夏のCO ₂ 削減・節電対策！ グリーンカーテンを知ってみ よう！作ってみよう！	牧野勇氏	10名
7月12日(金) 10:00~11:30	アイリスオ ーヤマ社 屋	せんだい E-Action 2013 実行委員会	発見！節電セミナー ※アンケート実施	楠山恭央氏(アイリ スオーヤマ)、今野 勇氏(推進員)	30名
8月27日(火) 10:30~12:30	泉松陵小 学校	シンプル&スロー ライフの会	グリーンカーテンの日なたと 日かげの温度を測ってみよ う！(3年生2クラス)	柳沼真理氏	70名
9月2日(月) 10:00~11:00	中田小学 校	シンプル&スロー ライフの会	省エネ活動発表会 (5年生4クラス)	柳沼真理氏	120名
9月11日(水) 18:30~20:00	アイリスオ ーヤマ社 屋	せんだい E-Action 2013 実行委員会	発見！節電セミナー ※アンケート実施	楠山恭央氏(アイリ スオーヤマ)、今野 勇氏(推進員)	70名

表 5-1 節電セミナー開催日程と内容



6月24日開催の様子



7月8日開催の様子



7月12日開催の様子



8月27日開催の様子



9月2日開催の様子



9月11日開催の様子

②アンケートの実施

節電セミナー実施の効果測定をするため、セミナー参加者に対しアンケートを実施した。なお、実施回は、夏の節電対策を包括した内容かつ、同内容で実施した7月12日、9月11日(せんだいE-Aciton2013実行委員会主催)の2回とした。(その他団体主催の節電セミナーでは、テーマが絞られていた内容だったことや小学生対象であったことから実施していない)

◎アンケート項目

- 1) 節電セミナー参加者属性
- 2) 節電セミナーの満足度、感想等
- 3) 節電セミナー実施によるCO₂削減量の算出

◎アンケート結果

<回答率>

7月12日：90%(回答者18名/参加者20名)

9月11日：74%(回答者52名/参加者70名)

1) 節電セミナー参加者属性

①性別

	項目	7/12	9/11
1	男性	6	26
2	女性	10	20
3	無回答	2	6
	合計	18	52

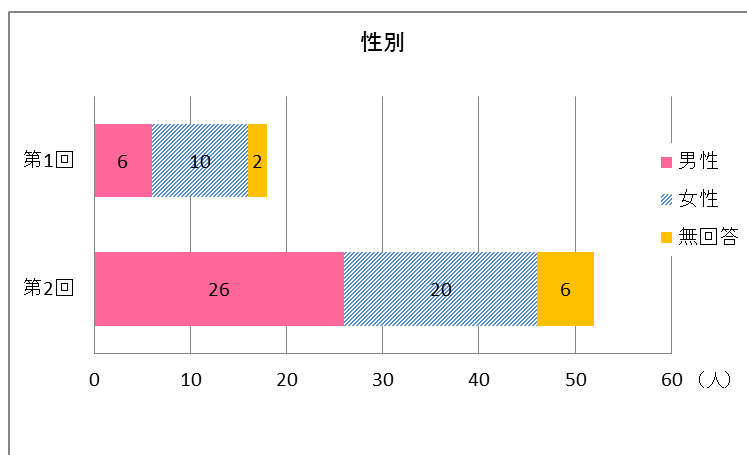


図 5-1 節電セミナー 性別

②年代

	項目	7/12	9/11
1	10代以下	0	2
2	20代	0	6
3	30代	2	4
4	40代	3	14
5	50代	4	9
6	60代以上	9	16
7	無回答	0	1
	合計	18	52

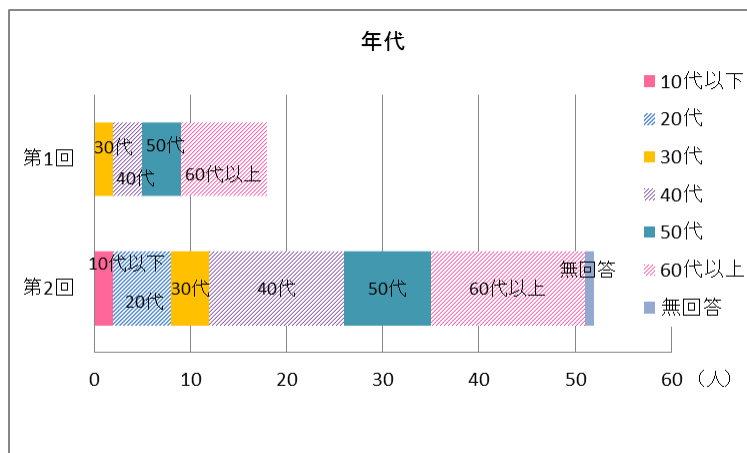


図 5-2 節電セミナー 年代

③今日のイベントをどこで知りましたか？（複数回答有）

項目	7/12	9/11
1 チラシ	7	15
2 友人・知人から	1	23
3 メルマガ等	1	5
4 新聞	8	2
5 その他	2	5
6 ホームページ	0	1
7 SNS	0	0
8 無回答	0	1
合計	19	52

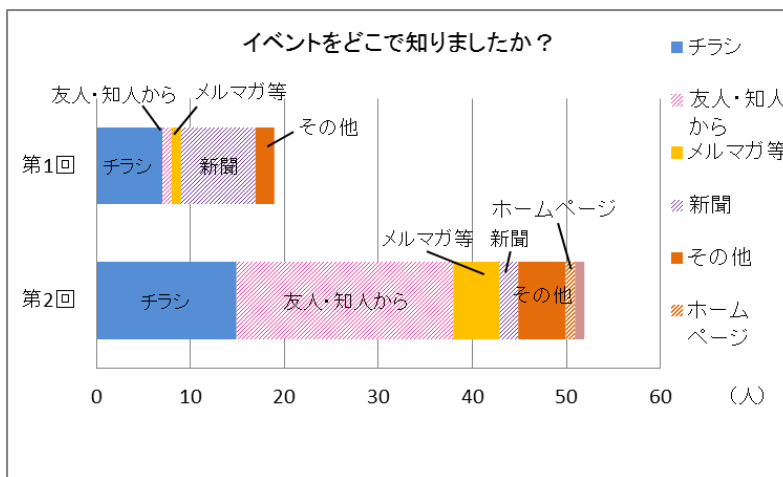


図 5-3 節電セミナー イベントを知った手段

チラシ入手先	7/12	9/11
みやぎ生協	2	4
MELON	2	5
市・区役所	2	1
公共施設	0	2
その他	0	3

2) 節電セミナーの満足度、感想等

①今日の内容はいかがでしたか？（複数回答有）

項目	7/12	9/11
1 とても参考になった	9	15
2 参考になった	7	32
3 どちらともいえない	0	5
4 あまり参考にならなかった	0	0
5 全く参考にならなかった	0	0
6 無回答	2	0
合計	18	52

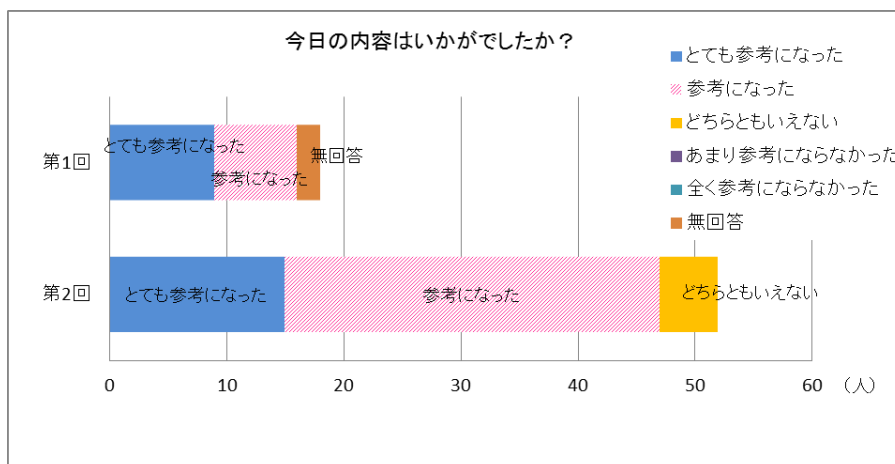


図 5-4 節電セミナー 満足度

②本日の節電セミナーについての感想、要望等

【7月12日】(原文)

<感想>

- 全階を詳しく説明して頂き、特に人感センサーや色目を変える調光機能、LED も数多くあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 人感センサー付きの電球についての情報は良かったです。
- 照明器具を LED にぜひ変えたいと思いました。
- アイリス青葉ビルを見学でき、いろいろな LED を知って体験できて良かったです。
- 昨年頃から節電対策で LED 電球という言葉を目にするようになって、私自身、LED 電球に対してあまり知らない事が多いので、今回参加させていただきました。今、人感センサー付きランプがあること、初めて知りました。新しいアイリスオーヤマのオフィス内を見学させて頂いて新しい発見を沢山勉強させていただきました。
- LED に変える予定していましたので、参考になりました。ありがとうございました。
- LED 照明器具を実際に放置されている状態を見学できて大変参考になりました。
- アイリス青葉ビル内ショールームが見学できてとても参考になりました。

<要望・改善点>

- アイリスビル内の便座の暖房が必要(7月)ないのでは？食堂の電子レンジの差し込み口を抜いた方が待機電力が節約できるのでは？アイリスビル内の9F 会場内照明と冷房をもう少し低くても良いのでは？
- 今野さんの話は最後の方をもっとじっくりやってほしかったです。
- 人感センサー付き LED 電球の人がいなくなつてからのついている時間が長いので、もっと短くはできないのでしょうか？
- これからも、私たちに新技術を分かりやすく説明して頂くセミナーをお願いいたします。
- チラシの表示、会場の入口サインが分かりにくかった。場所、地図の表記がほしい(チラシ) 入口のサインの改善して下さい。

【9月11日】(原文)

<感想>

- LED 電球の選び方についてよくわかりました。今日のお話をもとに、我が家でできることを考え、省エネに取り組みたいと思います。しかし、仙台は省エネといったら夏より冬の暖房ですよね？
- 大変参考になりました。参加してよかったと思っています。
- 実際の LED の明るさを体験でき大変勉強になりました。アイリスオーヤマさんのショールームに来たことがなかったので今度は案内と一緒に勉強してきたいと思っています。遅ればせながら節電に取り組み、検針票を提出したいと思っています。
- 今野さんのお話がよくわかりました。タメになりました。もっとお聞きしたかったです。
- 実際の LED をつけたオフィスが見れて参考になりました。自宅で LED 設置に向けて今日の講座を参考にいろいろ考察していきたいと思っています。
- 実際の LED の明るさを体験できてよかった。又、種類も豊富なので認識をあらたにします。
- LED の数値の読み方など疑問に思っていたことがわかりました。LED 明るくてすごかったです。
- LED 自体は高いけどランニングコストで見ればお得だとわかりました。

- ・当マンションの共用廊下の電灯を LED に変える計画があるので本日はとても参考になりました。
- ・とても参考になりました、ありがとうございました。
- ・エコについて強い意志がかたまりました。
- ・勉強になりました。
- ・実際の LED 照明を見れて、よかったです。
- ・人感センサーLED 電球が good！早速購入してみます。
- ・なかなか分かりにくかった LED 照明について紹介していただいたので今度は交換を考えてみようと思う。
- ・大変ありがとうございました。
- ・国民の多くが省エネ、創エネ、蓄エネをやりだしたら(国と) 電力会社がなんらかの圧力をかけ 3E をやっても損するような仕組みを作ってくるのではと恐れています。
- ・ご年配の方が多く感じました。ご興味を強く持っていらっしゃるのでしょうか・・・

<要望・改善点>

- ・スライドが見にくかったです。
- ・後ろのほうの席でしたが、音楽が聞こえてきて話に集中出来ませんでした。柱で画面が見えなくて残念。節電セミナーなのにクーラーがキツイ(寒かった)
- ・残念ながら、ターゲットがはっきりしない会だったと感じました。アイリスオーヤマさんは LED 照明に変えた(導入した)オフィスやお店がどれぐらい節電できたのか、のデータが見たかったです。オフィスの設備など「変えてみたい」とおもうおきっかけになると思います。
- ・省エネ調査は初めて、各地の公共施設で広く公表活動して欲しい。夜間もいいが日中 AM か PM に分けて実施して貰いたい。もっともっと広く PR して下さい。

3) 節電セミナー実施による CO₂削減量の算出

節電セミナー受講者に対し、アイリスオーヤマ社屋を会場に実物を用いた LED 照明の紹介や社員からの照明に関する最新情報や省エネ方法の情報提供を行う。また、宮城県地球温暖化防止活動推進員より、主に冷房にかかる家庭ですぐに取り組める省エネ方法の情報提供を行う。セミナー終了後に、照明と冷房(グリーンカーテン含む)をテーマとした夏の節電対策の行動変容アンケートを実施し、節電セミナー実施によって、受講者が今後どのくらい CO₂削減に寄与するかを算出した。

行動変容アンケートの結果および分析については、P.20 の 6.本事業実施による事業効果 CO₂排出削減効果(2) 行動変容アンケート結果に示す。

～行動変容アンケートとは～

- ①セミナー終了後に受講者に対し、照明と冷房(グリーンカーテン含む)に関する夏の節電行動 7 項目の中から、「今後新たに始めたい行動」にチェックをいれてもらう。
- ②チェックされた数に「CO₂削減行動」実施による CO₂削減量をかけて、受講者がその行動を実施すると仮定した場合の CO₂削減量の見込みを算出する。

(2) 節電ガイドブック

夏場の節電対策や宮城県のエネルギー消費の現状についてまとめた節電ガイドブックを 700 部作成し、セミナー参加者に配布したほか、構成員と協力し、幹事団体および構成団体が参加・実施する各種イベント等で配布することによりセミナーに参加できない市民に対して、家庭で取り組める夏の節電対策の情報提供を行った。



図 5-5 節電ガイドブック表紙

◎節電ガイドブックの掲載項目

- ① エネルギー消費の現状
- ② 節電のための基礎知識
- ③ 夏の節電やってみよう!
- ④ 夏の節電の取り組み、ここは気をつけよう!
- ⑤ もっと取り組みたい! 夏の節電
- ⑥ 取り組みの成果を見てみよう!
- ⑦ せんだい夏の節電促進プロジェクト 2013 とは?

◎別添: 「節電ガイドブック」現物参照

(3) 節電モニター

せんだい E-Action2013 実行委員会が実施する「105 万人の伊達な節電所キャンペーン」にて任命された節電モニターに対し、うちエコ診断員を派遣し節電状況のヒアリングやうちエコ診断の実施等による個別の節電方法のアドバイスを行った。

取材内容は、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん」のブログでも紹介された。節電モニターは 6 月時点で 5 名任命したが、家庭の事情（同居家族の都合）等により訪問できないモニターも発生し、実際に家庭に伺い個別のアドバイスを行ったのは 2 件（2 回）であった。

訪問日	節電モニター	訪問者	内容
8 月 29 日(木)	仙台市泉区の 3 人世帯	菅野喜美恵氏 (うちエコ診断員)	・節電状況のヒアリング ・うちエコ診断の実施 ※詳しくは、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん」のブログ参照 (http://www.tamaki3.jp/blog/?m=20130829)
9 月 4 日(火)	仙台市青葉区 の 5 人世帯	菅野喜美恵氏 (うちエコ診断員)	・節電状況のヒアリング ・うちエコ診断の実施 ・グリーンカーテンの育て方のアドバイス

表 5-2 節電モニター訪問日程および内容



図 5-6 9月4日訪問の様子

(4) 広報

① ウェブサイト

本プロジェクトを広報するため、ストップ温暖化センターみやぎウェブサイト内に「せんだい夏の節電促進プロジェクト 2013」の専用ページを作成し、プロジェクト概要や節電セミナーの開催状況などを掲載した。9月19日公開。

URL : http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/setsuden2013/index.html



図 5-7 トップページ



図 5-8 プロジェクトについて



図 5-9 節電セミナーについて

②情報紙による広報

当法人情報紙「MELON 情報紙 104 号」(2013 年 9 月発行)に、以下受診者募集のお知らせを掲載し、当法人会員約 1000 名に送付した。

ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.61

家庭からの節電を！～せんだい夏の節電促進プロジェクト2013～



節電ガイドブック無料配布中！
ご希望の方はストップ温暖化センター
みやぎへご連絡ください

2011年の家庭部門のCO₂排出量は1億8,900万トン、基準年（1990年）と比べると48%増加しています。産業部門、運輸部門は減少傾向にある一方で、家庭から排出されるCO₂は年々増え続けています。家庭からのCO₂排出量を燃料別に見ると、電気（48%）、ガソリン（25%）、ガス（12%）、その他（15%）と、電気から最もCO₂が排出されていることが分かります。（データ出典：温室効果ガスインベントリオフィス）

また、宮城県における温室効果ガスの排出量は、2005年をピークに減少傾向にあります。依然として基準年より温室効果ガスの排出量が多いのが現状です。このため、私たちの暮らしの中で取り組む節電が重要となってくるのです。

そこで今年度の環境省補助事業として、この夏実施しているのが「せんだい夏の節電促進プロジェクト2013」。県内の市民団体等と協働し、6月から9月の期間中、節電セミナーの開催や節電ガイドブックの配布などを行うことにより、家庭で取り組める具体的な夏の節電・省エネ方法のコツを伝授しています。プロジェクトの様子は、ストップ温暖化センターみやぎのブログにて報告していますので、ぜひご覧ください。

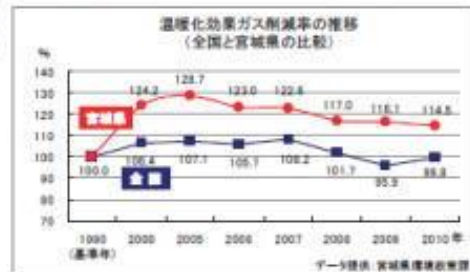
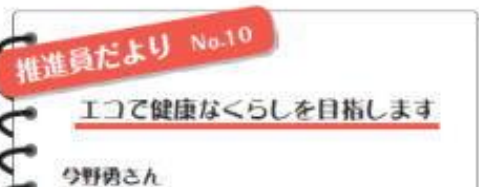


図 5-10 MELON 情報紙 104 号への掲載記事

③メディア報道

本事業および節電セミナー、キャンペーン広報のため、宮城県内の報道関係者に FAX 等で周知したほか、メディアへの直接の記事掲載依頼を行った。その結果、以下メディア、ブログ等に取り上げられた。

	日付	局	番組名	内容
1	7/2 (火)	河北新報	朝刊、暮らし面	「7/12 発見！節電セミナー」イベント告知
2	7/9 (火)	河北新報	朝刊、情報コーナー	「7/12 発見！節電セミナー」イベント告知
3	7/12 (金)	仙台市環境 Web サイトたまきさん	ブログ	「7/12 発見！節電セミナー」取材
4	8/28 (水)	仙台市環境 Web サイトたまきさん	ブログ	「8/27 グリーンカーテンの日なたと日かげの温度を測ってみよう！」取材
5	8/29 (木)	仙台市環境 Web サイトたまきさん	ブログ	節電モニター取材
6	8/29 (木)	河北 Weekly	-	せんだい夏の節電促進プロジェクト 2013 広告
7	9/3 (火)	仙台市環境 Web サイトたまきさん	ブログ	「9/2 省エネ活動発表会」取材

8	9/5 (木)	河北新報	夕刊、イベント情報	「9/11 発見！節電セミナー」イベント告知
9	9/16 (月)	仙台市環境 Web サイトたまきさん	ブログ	「9/11 発見！節電セミナー」取材
10	9/26 (木)	河北 Weekly	-	せんだい夏の節電促進プロジェクト2013 広告

表 5-3 メディア報道一覧

情報

●12日と9月、仙台で節電セミナー「発見！節電セミナー」(せんだいE-Action 2013実行委員会)が12日と9月11日、仙台市青葉区中央2丁目のアイリス青葉ビルで開かれる。市民を対象にした節電キャンペーンの一環。

両日ともLED照明を使い、電力消費量の削減に取り組むアイリスオーヤマのオフィスを見学。家庭で実行しやすい節電のことも学ぶ。

12日は午前10時、9月11日は午後6時半開始。参加無料で、電話か電子メールで申し込む。各回先着60人。連絡先は公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク022 (301) 9145。電子メールはstop_gw@miyagi.jp.org。

図 5-11 7月2日河北新報 くらし面

◇節電のカナメ LED (発光ダイオード) のイヤ

「発見！節電セミナー」

12日午前10時、仙台市青葉区・アイリスオーヤマのアイリス青葉ビル。市民を対象にした節電キャンペーンの一環。LED照明を使い、電力消費量の削減に取り組むアイリスオーヤマのオフィスを見学するほか、家庭で実行しやすい節電のことも学ぶ。定員60人(先着)。

参加無料。要予約。連絡先は公益財団法人MELON事務局022 (301) 9145

9月11日(水) 午後6時

9月12日(木) 午前10時

図 5-12 7月9日河北新報 情報コーナー

きびしい残暑 節電しながら快適にのりきろう!! エコな暮らしの提案!

～せんだい夏の節電促進プロジェクト2013～

1年の中でもエネルギー消費の高くなる夏。今年の夏は節電・省エネには取り組まれましたか? せんだい夏の節電促進プロジェクト2013では、市民団体等と協働して家庭で取り組める夏の節電・省エネ方法を紹介しています。

105万人の伊達な節電所 キャンペーン

キャンペーン期間 7月1日(月) ▶ 10月11日(金)

「せんだいE-Action2013実行委員会」がこの夏展開する節電キャンペーン。皆さんの節電行動で「使わなかった電力」を「発見!」し、7月～9月の「電気ご使用量のお知らせ」を投じて素敵なグッズを当てよう!

詳しくは、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん」 <http://www.tamaki3.jp> をチェック

「電気ご使用量のお知らせ」を以下の方法で投じてください。

①氏名、住所、計器番号などの個人情報を書らないように折りたたんで、
②当月分と昨年同月分の使用量の2カ所が写るようにして、

撮影してEメールで送る

コピーして郵送または持参

＜送信先＞
setuden@tamaki3.jp
件名なしの空メールでOK!

＜郵送・持参先＞〒980-0811
仙台市青葉区一番町4丁目7-17 小田急仙台ビル9階
仙台市環境局環境都市推進課 節電所キャンペーン係

※キャンペーン内容のお問い合わせは仙台市環境局環境都市推進課(TEL:022-214-0007)へ。

発見! 節電セミナー LED照明の節電効果説明、ショールームおよびオフィス見学会、毎日の暮らしでできる節電ポイントの紹介など

9月11日(水) 18:30～20:00 定員:先着60名

【会場】アイリスオーヤマ(株) 仙台市青葉区中央2丁目1-7
【申込方法】電話、FAXまたはメールで下記へお申し込みください。
主催:せんだいE-Action2013実行委員会

宮城県内で活動するNPO等と協働し、夏の家庭における節電を促してCO₂排出量を減らす取り組みです。

【プロジェクト協賛団体】 シンプルスローライフの会、せんだいE-Action2013実行委員会、仙台市環境局環境都市推進課、みやぎ生活協同組合、(公財)みやぎ環境とくらし・ネットワーク (賛助) 本田博彦氏、東北大学大学院工学部 安梨教授

※このプロジェクトは、環境省地球環境基金・宮城県環境局の補助金を受けて実施しています。

〈プロジェクトのお問い合わせ/「発見! 節電セミナー」のお申し込み〉
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
TEL:022-301-9145 FAX:022-219-5710 E-mail: stop_gw@miyagi.jp.org

図 5-13 8月29日河北 Weekly

～せんだい夏の節電促進プロジェクト2013～

別年になく暑さが続いた今年の夏。みなさんは節電・省エネにどのくらい取り組みましたか? せんだい夏の節電促進プロジェクト2013では、市民団体等と協働して家庭で取り組める夏の節電・省エネ方法を紹介しています。

105万人の伊達な節電所 キャンペーン

応募締切 10/11(金)

「せんだいE-Action2013実行委員会」がこの夏展開する節電キャンペーン。皆さんの節電行動で「使わなかった電力」を「発見!」し、7月～9月の「電気ご使用量のお知らせ」を投じて素敵なグッズを当てよう!

さあ! 7月～9月分の「電気ご使用量のお知らせ」を投じて素敵なグッズを当てよう!

詳しくは、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん」 <http://www.tamaki3.jp> をチェック

月間賞 9月分のみ投じていただいた方の中から抽選で20名様に保冷タンブラー

節電キャンペーン賞 7～9月の3か月分をまとめて投じていただいた方の中から抽選で10名様にLEDランタン

「電気ご使用量のお知らせ」を以下の方法で投じてください。

①氏名、住所、計器番号などの個人情報を書らないように折りたたんで、
②当月分と昨年同月分の使用量の2カ所が写るようにして、

撮影してEメールで送る

コピーして郵送または持参

＜送信先＞
setuden@tamaki3.jp
件名なしの空メールでOK!

＜郵送・持参先＞〒980-0811
仙台市青葉区一番町4丁目7-17 小田急仙台ビル9階
仙台市環境局環境都市推進課 節電所キャンペーン係

※キャンペーン内容のお問い合わせは仙台市環境局環境都市推進課(TEL:022-214-0007)へ。

宮城県内で活動するNPO等と協働し、夏の家庭における節電を促してCO₂排出量を減らす取り組みです。

【プロジェクト協賛団体】 シンプルスローライフの会、せんだいE-Action2013実行委員会、仙台市環境局環境都市推進課、みやぎ生活協同組合、(公財)みやぎ環境とくらし・ネットワーク (賛助) 本田博彦氏、東北大学大学院工学部 安梨教授

※このプロジェクトは、環境省地球環境基金・宮城県環境局の補助金を受けて実施しています。

せんだい夏の節電促進プロジェクト2013

〈プロジェクトのお問い合わせ〉
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
TEL:022-301-9145 FAX:022-219-5710 E-mail: stop_gw@miyagi.jp.org

うちエコ診断 実施期間 無料 2013年12月末

専門のうちエコ診断員が、あなたのお家やライフスタイルにぴったりの省エネアドバイスを行います。

詳しくは ストップ温暖化センターまで (TEL:022-301-9145)まで。

図 5-14 9月26日河北 Weekly

④節電レポートの作成

市民に、よりキャンペーンに参加してもらいやすくするため、9月より応募方法を改善した。これまでの応募方法としていた①インターネットによる投稿、②郵送、③持参に加え、4つ目として、「節電の成果レポート」用紙を作成し、FAXによる応募も可能とした。レポートには、使用電力量の記入欄を設けたほか、記入方法を詳しく記載した様式にし、構成員と共に各種イベント、節電セミナー等で市民に配布した。



図 5-15 節電の成果レポート

⑤構成員による節電対策の普及およびキャンペーン広報活動

<せんだい生ごみリサイクルネットワーク>

7月上旬、仙台市の桂市民センター内の図書館の窓にグリーンカーテンを設置し、市民センター職員や利用者に対しグリーンカーテンを活用した節電アドバイスをを行った。桂市民センターには7月から9月にかけて定期的に訪問し、グリーンカーテンの育成アドバイスのほか、キャンペーン周知も精力的に行った。

<シンプル&スローライフの会>

6月下旬、仙台市内の鶴ヶ谷小学校、蒲町小学校、寺岡小学校、七郷小学校、宮城教育大学にてグリーンカーテンを設置し、教職員・児童・学校利用者に対しグリーンカーテンの効果等の啓発活動を行った。また、農風 cafe 杜ノ遊庭にてゴーヤ、アサガオ苗無料配布して啓発活動を行った。8月には、中田小学校夏祭りにてグリーンカーテンの啓発活動を行った。また、啓発活動参加者のほか地域住民に対して、キャンペーン周知を行った。

<みやぎ生活協同組合>

仙台圏内のみやぎ生協39店舗および家計モニター約240名へ、キャンペーンチラシを配布したほか、組合員がメンバーとなった環境や家計の各専門委員会(合計200名程)が月一回開催する例会にてキャンペーンチラシを配布するとともに、応募の呼びかけを行った。

※せんだい E-Action2013 実行委員会の広報活動については、仙台市の事業となるため本報告書には記載しない。

6.本事業実施による CO₂ 排出削減効果

(1) 「105 万人の伊達な節電所キャンペーン」応募結果による CO₂ 排出削減量

電力会社から届けられる「電気使用量のお知らせ」を、昨年と今年の電気使用量が見えるように撮影した画像もしくはコピーした紙を、Eメールや郵送、持参で受け付けた。締切は、8/10、9/10、10/11の3回設け、各月ごとに応募者の中から抽選でエコグッズをプレゼントした(3ヶ月分等まとめた応募も可とした)。応募者の負担を軽減し応募件数を増やすため、応募に必要な項目は、電気使用量および景品送付用の連絡先のみとし、年代、家族構成、住所等の個人属性等の情報は無い。

なお、応募条件として、昨年より今年の電気使用量が減少している場合のみとし、昨年より増加した場合は応募不可とした。理由としては、「105 万人の伊達な節電所キャンペーン」は、市民一人ひとりの節電量(昨年と比較して今年削減できた電気使用量)を蓄積し、仮想の「節電所」として削減量を見える化することを目的としており、電気使用量が増加した場合は節電量に加算できないためである。

月別の応募件数および、昨年と今年の比較による電気使用削減量、CO₂ 排出削減量の結果を以下表およびグラフに示す。

			7月	8月	9月	合計
応募世帯数 (件)			88	114	112	314
平成 24年度	電気使用量 (kWh)	計	26,896	36,068	37,652	100,616
		世帯あたり	306	316	336	958
	CO ₂ 排出量 (kg- CO ₂)	計	15,062	20,198	21,085	56,345
		世帯あたり	171	177	188	537
平成 25年度	電気使用量 (kWh)	計	24,909	32,287	32,024	89,220
		世帯あたり	283	283	286	852
	CO ₂ 排出量 (kg- CO ₂)	計	13,949	18,081	17,933	49,963
		世帯あたり	159	159	160	477
電気使用削減量 (kWh)			1,987	3,781	5,628	11,396
CO ₂ 排出削減量 (kg- CO ₂)			13	19	28	-
削減割合			7.4%	10.5%	14.9%	-

表 6-1 平成 24 年度および平成 25 年度の電気使用量と CO₂ 排出量の比較

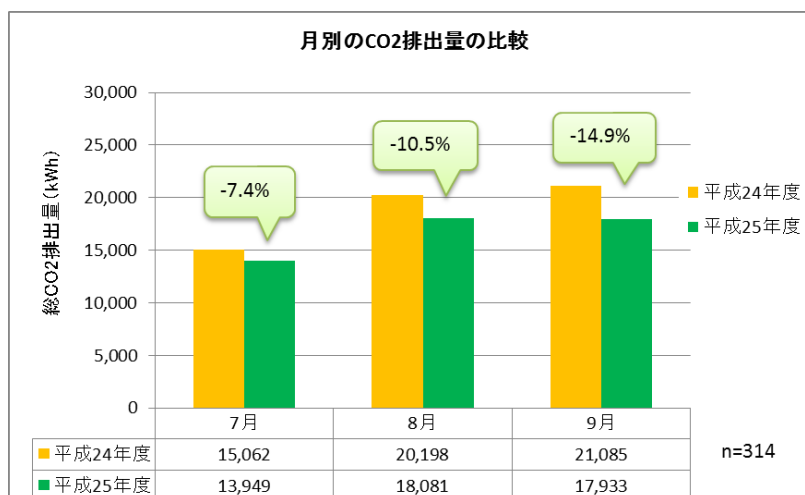


図 6-1 月別の CO₂ 排出量の比較

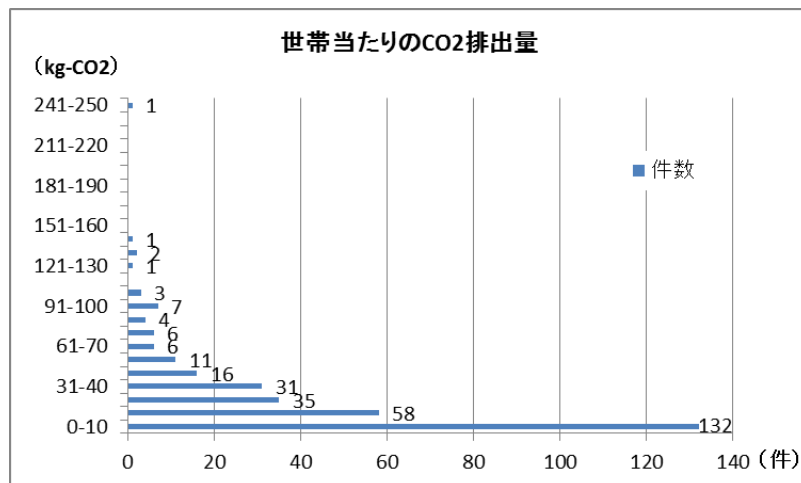


図 6-2 世帯あたりの CO₂ 排出量

応募された 314 件の平成 24 年度の電気使用量と平成 25 年度の電気使用量との差により、CO₂削減量を算出した。

- ・P.20 の表より、平成 24 年度および平成 25 年度の電気使用量は、それぞれ 110,616kWh、89,220 kWh である。

- ・CO₂排出係数は 0.600kg-CO₂/kWh とする。（東北電力平成 25 年度発表の実排出係数）

以上より、キャンペーン応募による CO₂削減量は以下の値である。

キャンペーン応募による CO₂削減量

$$\begin{aligned}
 &= (\text{平成 24 年度の電気使用量} - \text{平成 25 年度の電気使用量 (kWh)}) \\
 &\quad \times \text{CO}_2 \text{ 実排出係数 (0.560kg-CO}_2\text{/kWh)} \\
 &= (110,616\text{kWh} - 89,220 \text{ kWh}) \times 0.600\text{kg-CO}_2\text{/kWh} = 6,837.66\text{kg-CO}_2 \\
 &= \underline{\underline{6,84 \text{ t-CO}_2}}
 \end{aligned}$$

(2) 行動変容アンケート結果

上記キャンペーン実施による CO₂排出削減量の算出のほかに、7 月 12 日および 9 月 11 日実施の「発見！節電セミナー」アンケート結果より、節電セミナー実施による CO₂削減量を算出した。

行動変容アンケートの結果を以下表に示す。

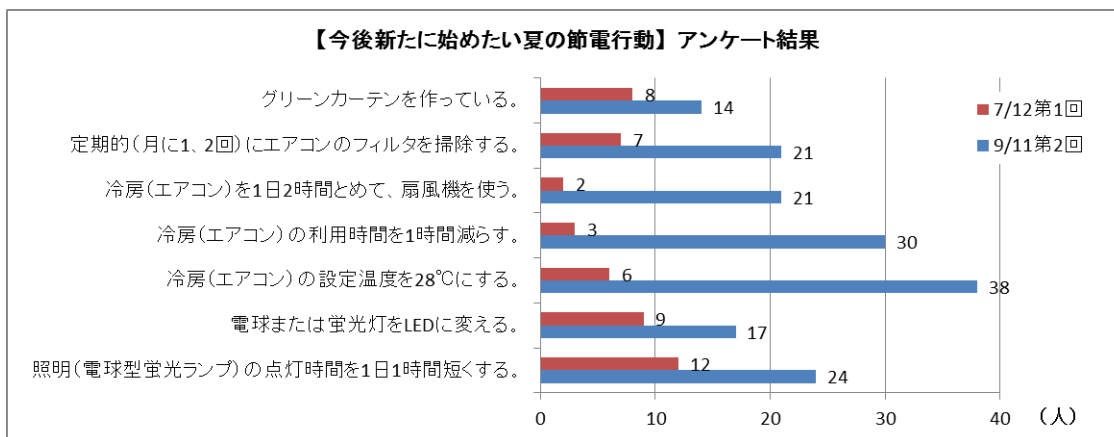
	今後新たに始めたい夏の節電行動	チェック数 7/12	チェック数 9/11	CO ₂ 削減 量(kg-co ₂ / 年)	セミナーによる CO ₂ 削減効果 (kg-co ₂ /年)
1	照明(電球型蛍光灯)の点灯時間を1日1時間短くする。	12	24	1.6	57.6
2	電球または蛍光灯照明をLEDに変える。	9	17	48.0	1248.0
3	冷房(エアコン)の設定温度を28℃にする。	6	38	11.3	497.2
4	冷房(エアコン)の利用時間を1時間減らす。	3	30	70.0	231.0
5	冷房(エアコン)を1日2時間とめて、扇風機を使う。	2	21	8.6	198.7
6	定期的(月に1、2回)にエアコンのフィルタを掃除する。	7	21	11.9	333.2
7	グリーンカーテンを作っている。	8	14	341.2	7506.4
	合計	47	165		10,072.1

セミナーによる CO₂ 削減効果: 7/12、9/11 の合計チェック数 (人)×CO₂ 削減量(kg-CO₂)

CO₂ 削減量参照: (1) (3) (4) (5) (6)省エネルギーセンター2010 年度家庭の省エネ大辞典

(2)うちエコ診断ソフト(白熱電球をLEDに変えた場合、1日6時間使用)

(7) みやぎグリーンカーテンプロジェクト2012



上記表より、節電セミナー実施による CO₂ 削減量の見込みは、

$$10,072.1 \text{ kg-CO}_2 = \underline{\underline{10,07\text{t-CO}_2}}$$

7.コンソーシアム事業の総括と評価

■昨年度課題の克服について

平成 24 年度に引き続き、平成 25 年度も夏の節電をテーマとしたプロジェクトに取り組んだ。今年度の課題として、二つの課題があった。

一つ目の課題は、節電行動に至るまでのフォローの強化である。昨年度はグリーンカーテンの設置によって夏場の空調機器(エアコン、扇風機など)の節電を促すという内容であったが、実際に「空調機器の使用を控えた」という割合は3割程であった。その要因として、住民に涼しさを感じてもらうために、住人の節電意識向上へのフォローよりもグリーンカーテンの育成方法のフォローが重点的になっていたことが考えられる。そこで今年度は、節電行動に至るまでのフォロー強化として、3つ実施した。一つ目は、節電実行効果の向上を目的とした「節電セミナー」を実施し、お金をかけずともすぐに取り組める具体的な節電対策のコツを事例を交えて紹介し、節電実行を促した。二つ目は、節電セミナーに参加できなくても節電に取り組めるようコツをまとめた「節電マニュアル」を作成し、節電セミナーに参加できないより多くの市民へ節電対策のコツを伝授した。3つ目として、市民の中から「節電モニター」を募集し、自宅へ訪問しオーダーメイドの節電対策のアドバイスをを行いその様子をブログ等で紹介することにより、市民への啓発効果を高めた。

二つ目の課題は、より分かりやすい方法による CO₂ 排出削減効果の算出への変更である。本事業においては CO₂ 排出削減量の算出が重要となってくるが、その算出方法や値は明確で確実性の高いものが望まれる。昨年はグリーンカーテン設置による効果を測定するため、空調機器以外の電気使用量も含まれる「電気使用量のお知らせ」のデータではなく、窓の表面温度および緑被率を用いた方法で CO₂ 削減効

果を算出したものの、難解な計算式ゆえに効果測定に多くの労力を費やした。今年度は効果測定の効率化とデータの確実性を高めるため、空調機器だけでなく、夏場に家庭で取り組める節電対策全般を伝授することにより、家庭全体における節電対策を促した。よって、「電気使用量のお知らせ」による昨年度と今年度の電気使用量の差分をもって、CO₂排出量の削減分に換算した。

■CO₂排出削減効果の評価

P.19の6.本事業実施によるCO₂排出削減効果より、「105万人の伊達な節電所キャンペーン」応募結果によるCO₂排出削減量は、応募件数314件、CO₂削減量は6,84 t-CO₂であった。実施計画時のCO₂削減量見込みは、26.25 t-CO₂ (1件当たり37.5kg-CO₂×700世帯)であったことから、その達成率は26.1% (件数の達成率は44.6%)である。

件数やCO₂削減量が計画時の値に達しなかった要因として、件数の伸び悩みと一人当たりのCO₂削減量の見込みと実際の値の差が大きかったが挙げられる。

まず、一人当たりのCO₂削減量については、計画時の一人当たりのCO₂削減量は37.5kg-CO₂であったのに対し、実施結果は3ヶ月平均20kg-CO₂ (7月：13kg-CO₂、8月：19kg-CO₂、9月：28kg-CO₂)と、計画時の52%程度のCO₂削減量であった。この要因として、平成25年の夏の猛暑や大雨の影響により、猛暑に加え室内で過ごす時間が増えたことにより、冷房(エアコン)や照明などにかかる節電行動の実施が下がったためと考えられる。

気象庁が平成25年9月2日に発表した「平成25年(2013)夏の日本の極端な天候について」によると、「2013年の夏(6~8月)は全国で暑夏となった。8月上旬後半~中旬前半の高温ピーク時には、東・西日本太平洋側を中心に気温が著しく高くなった(図7-1)。」とあることから、特に8月後半以降、例年以上に暑い夏であったことが分かる。また、気象庁の「過去の気象データ」より、2013年の7月から9月にかけての降水量の総量は185.5mmで、前年(2012)の106.2mmに比べ、174.4%増加している。

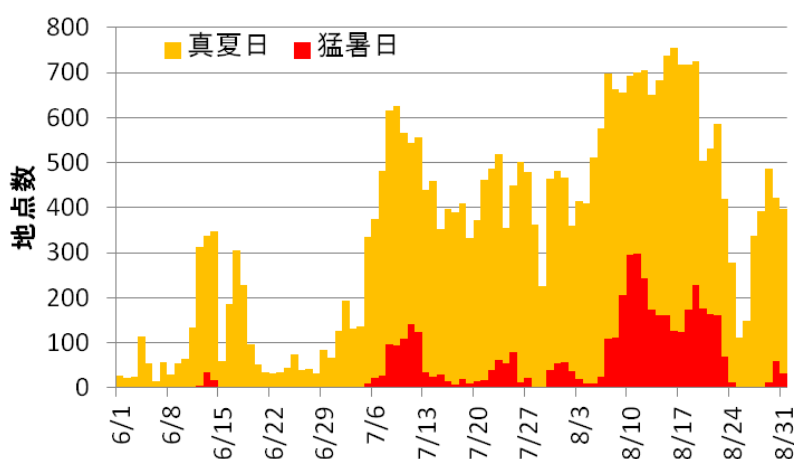


図7-1 2013年の猛暑日、真夏日の地点数の経過

(全国927地点中。猛暑日は日最高気温35℃以上、真夏日は日最高気温30℃以上。)

出展：気象庁平成25年度9月2日報道発表資料

件数の伸び悩みについては、応募条件を前年比で減少した世帯のみに限定してしまったことが要因の一つとして考えられる。上記のとおり、2013年の猛暑および大雨の影響により、節電行動の実施の低下し、電気使用量が減少した世帯が少なかったことで、キャンペーンへ応募できる世帯数が市内全体的

に下がってしまったと考える。一方で、市民からは「キャンペーンを知って節電に取り組んだが、電気使用量が前年比減少しなかったために応募できなかった」との声も寄せられ、市民のキャンペーン認知はある程度はあったものと思われる。

■事業実施の評価

キャンペーン応募結果による CO₂削減量は計画時の値に達しなかったものの、事業はおおむね計画通りに遂行し、計画した内容は全て実施することが出来た。1点、直接的な節電のコツ伝授を行う節電モニターへの訪問について、モニター家庭の事情(同居家族の都合等)により訪問回数が当初予定より減少した。このため、より多くの市民にコツ伝授を行えるようセミナー参加者の募集を強化した。その結果、節電セミナーには定員以上(定員 60 名に対し参加者 70 名)の参加をいただきより多くの市民にコツ伝授を行うことができたことで補うことができたと考える。

今年度新たにせんだい E-Action2013 実行委員会がコンソーシアムに加わったことにより、仙台市環境局や企業との連携がスムーズとなり、節電セミナーの実施や市民への夏の節電啓発に大きな効果があった。

期間中に実施した節電セミナーの実施や構成員による節電対策の普及活動は、多くの市民との繋がりも生まれた。特にグリーンカーテンによる環境教育は、植物を育てるプロセスを体感し、できた実を食べる食育、将来のグリーンコンシューマー育成にも繋がり、児童へ大きな学びを与えるものである。また、児童に加え保護者、地域住民への啓発効果もあり、地域や将来への波及効果が非常に大きいものと考えられる。

件数増加のための改善策として、9月より FAX による応募も追加した。この結果、全体の応募件数は 1.0%増加したことから、改善したことで確実に件数の増加に寄与したと言える。

■今後の課題と展望

地域活動支援・連携促進事業として、2011 年度から 3 年継続して夏の節電をテーマとした事業に取り組み、コンソーシアム構成員はじめ市民、行政、企業など多くの方に事業に参加していただき、上記評価にあげられるような成果も得られた。

これまでの事業を通して、「節電のために」「地球温暖化のために」という訴えではより多くの市民の関心を引き付けることは難しいと感じる。節電をテーマにしたセミナー等に参加いただく市民の方はおもともと環境意識の高い方が多いことが伺えるため、ある程度の節電対策を実施していることが考えられる。このため、既に節電に取り組んでいる方がさらに節電に取り組んでも電気使用量の削減幅は年々少なくなっていくことが想定できる。

家庭からの「節電」「地球温暖化」を推進していくために、「節電」「地球温暖化」に関心がなくエネルギーをたくさん使っている層に取り組んでもらうことで、より大きな効果が期待できると考える。そのために重要なことは、いかにして関心のない層に行動してもらうかが重要である。

関心のない層へ働きかける手段として、本事業を通して分かったことは、「節電」と「何か」の組み合わせが効果的であるということである。「何か」とは、例えばグリーンカーテンである。空調機器による節電を啓発するにしても、「節電のために取り組みましょう」と訴えるよりは、「グリーンカーテンを育てましょう。その結果節電にも繋がります」といった方が、節電に関心がなくとも「園芸が好きだから」「ゴーヤを食べたいから」、学校等では「植物を育てることが理科の授業の一環になるから」といった人々に取り組んでもらいやすくなる。特に今回の事業を通し、グリーンカーテンは、節電効果以外にも癒しや環境教育、地域・未来への波及効果など多くの副次的効果が生まれることも分かった。

これらの課題を解決するため、環境分野に限らず多用な主体とネットワークを広げ連携していくことが重要である、そのために地域支援・連携促進事業は有効であると考えている。